

今回ケースを材料にして、前分析+分析をします。

<前分析>

- ① 印象 静か、柔和、温厚、礼儀正しい、優しそう、背が高くゆったりした、話しやすい。  
楽観的な人。
- ② 健康度(7～8/10)癌・腫瘍の手術を 6 回もしているのに、やつれていない。
- ③ 予後  
(良いレメディがある時)少なくとも今の状態を維持し再発せず、もっと健康になってゆく。  
無理して人に合わせるのはやめて、自分のペースで好きなことに熱中して生き、人生を全うする。  
(良いレメディがない時)癌が更に転移し続けるが、手術も出来ず、次第に衰弱してゆく。
- ④ 救急性 慢性
- ⑤ 治癒を妨げているものは? 無し
- ⑥ 親和性(部位)直腸、肝臓、胃、肺、皮膚、全身(寒気)
- ⑦ マヤズム傾向 Psor.または、Cancer
- ⑧ 全体性 慢性病1つ
- ⑨ バイタリティー 8/10

◎際立った点(症状)をピックアップ～特に SRP 的なところ

身体面

- ・癌(原発:直腸、肝臓、肺、胃)～主に消化器系が弱く、転移してゆく。
- ・寒気(生命熱の低下)、
- ・深夜によく目覚める。
- ・右を下にして寝ると好転。
- ・頭部にヘルペスが出やすい。
- ・暖かな飲み物を欲しい。

精神面

- ・仕事大好き。
- ・臆病、慎重、安全が大事、従順
- ・人間関係がうまくいかないと自分を責める。周りに気を使う調整役。
- ・争うことが嫌い、避ける。ぶつからないように周りに合わせてゆく。
- ・知的(好奇心旺盛)
- ・好きなことには、熱中する。子供っぽい。
- ・のろい人には、イライラする。
- ・家と職場では、態度が違う。家ではイライラを出す。職場では、とても良い人。
- ・一人は苦手。
- ・楽観的。
- ・努力家

## ◎統合＝病の中心

- ・癌体質。消化器系中心に弱い。数多くの転移。(胃腸・肝臓・肺)
- ・癌以来、身体が、冷えやすい。
- ・持って生まれたものは弱くはなかったが、50代の時期に無理し過ぎている。
- ・楽観的で健康的な精神の持ち主。その精神がこの人を支えている。
- ・臆病で慎重で真の自信がない。
- ・周りを敏感に感じ取り、相手に合わせたり、複数の関係者と交渉・調整することで物事を前に進めて行こうとする(仕事ぶり)。
- ・家ではイライラするが、職場では細やかな気遣いの出来る良い人。内と外での二面性がある。

・・・このような全体像を持ったレメディを探す。